

食道切除術を受けられる方へ

この計画書は診療の概要を記したものであり、状況に応じて変更することがあります。 ※何かご不明な点があったら、担当医又は看護師にお尋ねください。

年月日	2019年1月19日	1月20日 ~ 1月21日	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日	
経過	入院	手術3~2日前	手術前日	手術当日	手術1日後	手術2日後	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ◇本人と家族が手術の必要性を理解し、手術に同意している ◇手術前の身体的・精神的準備が整う ◇口腔ケアができています。 ◇栄養士による栄養指導ができています。 ◇薬剤師により薬の説明ができています 	<ul style="list-style-type: none"> ◇本人と家族が手術の必要性を理解し、手術に同意している ◇手術前の身体的・精神的準備が整う ◇口腔ケアができています。 ◇栄養士による栄養指導ができています。 ◇薬剤師により薬の説明ができています 	<ul style="list-style-type: none"> ◇本人と家族が手術の必要性を理解し、手術に同意している ◇手術前の身体的・精神的準備が整う ◇口腔ケアができています。 ◇栄養士による栄養指導ができています。 ◇薬剤師により薬の説明ができています 	<ul style="list-style-type: none"> ◇血圧が安定している ◇術部の痛みや苦痛が早期に軽減できる ◇胃チューブやドレーン(お腹の管)から出血がない 	<ul style="list-style-type: none"> ◇血圧が安定している ◇術部の痛みや苦痛が早期に軽減できる ◇胃チューブやドレーン(お腹の管)から出血がない 	<ul style="list-style-type: none"> ◇嘔気・嘔吐がない ◇術部の痛みや苦痛が早期に軽減できる 	
検査治療処置	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸訓練(ネブライザー、フラッター)を開始します ・口腔ケアを行います 		血液検査があります 	弾性ストッキングをはく 術室に着替える 時 分頃 手術室へ行きます	術後から点滴開始 酸素マスク装着 お腹にチューブを挿入 胸にチューブを入れる 尿管を入れ、尿量測定	弾性ストッキングを脱ぐ 酸素マスク除去 血液検査 X線撮影	お腹のチューブを抜去 血液検査 X線撮影
内服薬注射			午後より下剤を内服します 眠れない時は、睡眠剤がありますので必要な場合はお伝えください		痛みがある時は痛み止め(注射・座薬)を行います		
活動安静度	制限はありません 普段通り歩いてください	制限はありません 普段通り歩いてください	制限はありません 普段通り歩いてください		術後は集中治療室へ	一般病棟へ移動 室内を歩行できます	
食事	常食	常食+栄養補助食 (免疫賦活栄養剤を摂取する)	朝・昼は常食+栄養補助食 夕方は流動食 水、お茶は夜10時まで 	当日は絶飲食  	当日は絶飲食  	(腸瘻カテーテルから栄養剤をとります) 絶飲食   絶飲食  	
清潔	入浴できます 口腔ケアを行います(歯科)	入浴できます	胸から腹部まで除毛した後入浴します	ヘアピン、指輪、義歯ははずしてください 男性はひげを剃ってください	体をふきます 	体をふきます	
排泄				手術前には排泄をすませる	手術室にて尿管を挿入		
指導説明書類	<ul style="list-style-type: none"> ・医師より手術および入院の説明 ・ネームバンド装着 ・入院時オリエンテーション ・薬剤師より薬の説明 ・栄養士による手術前後の栄養指導 ・病衣使用確認 ・必要なものを準備してください(バスタオル・胸帯・T字帯1枚) ・HCU(集学治療病棟)入室時の必要物品説明・確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・外来で手術の説明をします ・輸血や血栓症予防、その他、主治医より説明があります。 ・麻酔科医師・手術室看護師の訪問があります ・手術・麻酔・輸血説明同意書 ・肺血栓塞栓症予防の説明同意書 ・研究・検体保存に関する同意書 ・その他必要な同意書 		血栓症予防のため足の指をグーパーと広げます 	手術結果の説明があります 		
リハビリその他					ベッドでリハビリの開始 HCU入室	立ったり、車椅子のリハビリを開始します	一般病棟に転棟

食道切除術を受けられる方へ

年月日	1月26日	1月27日	1月28日 ~ 1月29日	1月30日	1月31日	2月1日 ~ 2月16日	2月17日
経過	手術3日後	手術4日後	手術5~6日後	手術7日後	手術8日後	手術9~24日後	退院
達成目標	◇腸の動きが回復し 排ガスがある	◇術部の痛みが軽度 でトイレ、洗面へ歩行 ができる ◇病棟内歩行ができる	◇病棟内歩行ができる		◇口から食べることができ 嘔吐や腹部膨満感が 増強しない		【退院基準】 ◇食事の約半分を食べることができる ◇食後、嘔吐・腹部膨満がなく排便がある ◇食事療法について理解できる ◇発熱がない・白血球増加がない ◇傷口の発赤・腫脹がない ◇腸瘻カテーテルは外来での抜去も可能
検査 治療 処置	点滴継続中 → 胸のチューブを抜去 血液検査 X線撮影	血液検査 X線撮影 尿の管を抜去 尿量測定中止	血液検査(手術5日後)	血液検査 X線撮影	抜糸 透視検査	点滴終了(手術9日後)	
内服薬 注射							
活動 安静度	室内を歩行できます	病棟内を歩行できます	病棟内を歩行できます	病院内を歩行できます	病院内を歩行できます	病院内を歩行できます	【退院後の治療計画】 今後も、当院外来にて、経過観察します
食事	絶飲食 	絶飲食 	絶飲食 	絶飲食 	→ (腸瘻カテーテル抜去) 透視検査が問題なければ 飲水できます 3分食がはじまります	3分食(9日目~) 5分食(11日目~) 7分食(12日目~) 全粥(13日目~) ※1日5回にわけて食事です	【指導】 服薬指導 退院後の生活について指導
清潔	体をふきます 	体をふきます	体をふきます	体をふきます	体をふきます	シャワー浴可 (手術9日目以降)	【退院後の生活について】 1. 1回量を少なくして、食事の回数を増や しましょう 術後3~6ヶ月は1日5~6回の分割食とし、 少しずつ1回量を増やしていきましょう 2. 消化の良い食品にしましょう 3. ゆっくり時間をかけて、食事をしましょう 4. 腹痛や嘔吐があったら、絶食にするか 食事量を減らしてください 5. 炭酸や暴飲暴食は避けましょう
排泄		尿の管を抜去					
指導 説明 書類					看護師から栄養指導が あります	栄養士から栄養指導が あります 退院までに病理結果説明 を行います	【連絡先】 徳島大学病院 電話 088-631-3111 代表番号になっています 退院後は以下にお知らせ下さい 外科外来:電話番号 088-633-7136 
リハビリ その他							